

# 串間市議会 だより

3月 議会  
6月 議会  
9月 議会  
12月 議会

2015年10月 No. 10

[http://www.city.kushima.miyazaki.jp/modules/contents05/index.php?cat\\_id=1](http://www.city.kushima.miyazaki.jp/modules/contents05/index.php?cat_id=1)  
「議会だよりは串間市のホームページからご覧になれます」

TEL 0987-72-0691 FAX 0987-72-0932

Pick UP

## 1人に1つ『マイナンバー制度』開始



都井岬灯台

- |                                    |                          |
|------------------------------------|--------------------------|
| ◆9月定例会のおもな内容 …………… P2              | ◆市政に対する一般質問 …………… P7~P12 |
| ◆常任委員会報告・臨時会（いこいの里）<br>…………… P3~P4 | ◆請願・陳情 討論 …………… P13      |
| ◆常任委員会行政視察報告 …………… P5~P6           | ◆審議結果 …………… P14~P15      |
|                                    | ◆ふるさと探訪 …………… P16        |

平成27年 第5回串間市議会  
**9月定例会**  
 会期並びに審議日程

●会期

平成27年8月31日(月)から  
 平成27年9月18日(金)まで19日間

●議事日程

月日	曜	種別	内容
8月31日	月	本会議	○会議録署名議員の指名 ○会期の決定 ○報告第7号及び報告第8号、認定第1号から認定第13号、議案第70号から議案第82号(上程、提案理由説明)
9月1日	火	休会	議案熟読 *一般質問通告締切 午後1時30分 発言順位抽選 午後2時~
9月2日	水	休会	議案熟読
9月3日	木	休会	議案熟読
9月4日	金	休会	議案熟読
9月5日	土	休会	
9月6日	日	休会	
9月7日	月	本会議	○市政総体に対する一般質問
9月8日	火	本会議	○市政総体に対する一般質問
9月9日	水	本会議	○市政総体に対する一般質問 *議案質疑通告書締切 午後5時
9月10日	木	本会議	○市政総体に対する一般質問 日程追加 ○議案第83号(上程、提案理由説明)

月日	曜	種別	内容
9月11日	金	本会議	○認定第1号から認定第13号(質疑、決算審査特別委員会設置、同付託) ○報告第7号及び報告第8号、議案第70号から議案第83号〔質疑(報告第7号及び報告第8号終了)、委員会付託(議案第82号及び議案第83号省略)〕 ○請願・陳情(上程、委員会付託)
9月12日	土	休会	
9月13日	日	休会	
9月14日	月	委員会	付託案件の審査
9月15日	火	委員会	付託案件の審査
9月16日	水	委員会	付託案件の審査
9月17日	木	委員会	付託案件の審査
9月18日	金	委員会	付託案件の審査
		本会議 午後1時	○議案第70号から議案第81号 請願・陳情(委員長報告、委員長報告に対する質疑、討論、採決) ○議案第82号及び議案第83号(討論、採決) ○議員提出議案第1号(上程、提案理由説明省略、質疑、委員会付託省略、討論、採決)

平成27年度一般会計補正予算(第3号)

**1億6,116万2千円を増額**

平成27年9月定例会が8月31日から9月18日までの会期で開催されました。

今定例会では、一般会計他特別会計の補正予算6議案、条例改正3議案、その他5議案が上程され全て原案の通り可決されました。なお今回は11名の議員が市長等に対して一般質問を行いました。

その他、議員発議による議員提出議案「森林整備事業予算の拡充についての意見書」を上程し可決いたしました。

9月  
定例会

## 常任委員会 活動りポ一ト

常任委員会は、議案の審査だけでなく、  
市民生活に深く関わることについて調査研究を行っています。  
最近の活動内容をご紹介します。

### 総務常任委員会

委員長 井手明人

議案5件、陳情1件

◎議案第70号 平成27年度串間市一般会計補正予算（第3号）中、分割負託を受けた関係部分

全会一致で可決しましたが、電子計算管理費における電算業務委託料、債務負担行為補正の人事給与・財務会計システムリース料ともに十分な精査と経費削減に努めるべき、また企画費における「がんばっどふるさと応援基金」の返礼品率を高め、地場産業の振興と寄付件数の増加を図るべきなどの意見がありました。

◎議案第72号 平成27年度串間市市民病院事業会計補正予算（第1号）

賛成多数で可決しましたが、積算内容の精査が不十分で経営改善意識が欠如しているとの指摘があり、調理業務についてはコスト軽減を意識した予算執行を行うよう強い意見がありました。

◎議案第76号 串間市がんばっどふるさと応援基金条例の一部を

### 改正する条例

全会一致で可決しましたが、寄附者の意見が反映される項目を追加すべきとの意見がありました。

◎議案第77号 行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

全会一致で可決しましたが、この条例はマイナンバー制度導入に伴う条例で、セキュリティ強化や個人情報漏えい等がないよう庁内体制強化に努めるべきとの意見がありました。

◎陳情第3号 川内原発再稼働について公開住民説明会を求める陳情書

この陳情については調査に時間を要するため、結論に至らず継続審査としました。

### 文教厚生常任委員会

委員長 川崎千穂

◎議案第70号 平成27年度串間市一般会計補正予算（第3号）分割付

託を受けた関係部分について

賛成多数で可決しましたが次のような意見がありました。

【個人番号カード交付等に係る事務費】

27年10月から社会保障、税番号制度における個人番号が市民に通知されるが、この制度は市民の理解が進んでおらず、多額の費用が掛かることから窓口、電話の業務が増加すると予想されるので日常の業務に支障が出ないよう対策を取るべき。

◎議案第75号 平成27年度串間市介護保険特別会計（事業勘定）補正予算（第2号）

採決の結果全会一致で可決しましたが次のような意見がありました。

#### 【地域支援事業費】

介護保険制度において報酬単価の引き下げ、一定以上所得者の利用者負担割増となっていることから、利用者の減少、負担増にならないよう適切な総合事業の運営に努めるべき。

◎議案第78号 串間市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理に関する条例の一部を改正する条例

採決の結果賛成多数により可決しましたが次のような意見が

ありました。

日南市とごみの共同処理の実施に伴い搬入にかかる手数料の見直しや指定ゴミ袋の特小を作成するための改正を行うものであるが、市民の負担が増えるので、料金の減額など、サービス低下を招かないよう対策を取るべき。

### ◎議案第79号 工事請負契約の締結

採決の結果全会一致しましたが次のような意見がありました。

現在の福島中学校は土砂災害特別警戒区域に該当する可能性があるが、また工事の際、生徒が安心して学校生活が送れる様に十分に安全対策、防災対策を講じるべき。

## 産業建設常任委員会

委員長 福留 成人

今議会産業建設常任委員会に付託を受けた議案4件、陳情2件を審査いたしました。

### ◎議案第70号 平成27年度串間市一般会計補正予算(第3号)

全会一致で可決しましたが次のような意見がありました。

農業者年金事業のチラシ作成は、チラシを活用し積極的な加入促進を図り、市内農業者の生活安定につなげるべき。

また、串間温泉いこいの里の修繕料や改修工事については、見積もりを取る場合は市内業者を優先すること、全体的に見積もり金額が高いとの指摘、修繕後は毎日の点検とメンテナンスを徹底し、年次的管理計画に基づき修繕を行い、行政及び指定管理者はコスト意識を持ち温泉経営にあたるべき。

農産物の海外輸出に向けた先進地視察は、充実した調査活動を行い、視察後は多くの農業者や事業者へ還元できるように工夫すべき。

また、林業費の市有林管理は、本来の目的を明確にし、森林経営計画の着実な執行に務め、商工費の観光誘致宣伝事業は、都井岬を宣伝する好機になり、恋ヶ浦の公衆トイレポンプ移設は、想定できない事態であったものの今後このようなことがないよう十分に留意すべきとの意見。中心市街地まちづくりに事業に係る予算は、先進地視

察等あらゆる角度から調査研究を行い、若者の意見を取り入れる工夫をし、旧吉松住宅周辺の建物の解体については専門家や市民団体と充分に協議し、有利な形で中心市街地の整備ができるよう、国の事業費に道の駅エリアを追加して整備すべきとの意見がありました。

### ◎議案第73号、議案第74号、議案第81号

原案のとおり全会一致で可決しました。

◎陳情第1号 串間・市木国道448号線通行止めに伴う迂回路の整備について

◎陳情第2号 くしま朝市よかむん市の円滑開催に向けた会場環境整備について

2件ともに願意を了とし採択いたしました。

## 臨時会 (H27・8・12)

## 産業建設常任委員会

委員長 福留 成人

今臨時会に産業建設常任委員会に付託を受けた議案1件を審査いたしました。

### ◎議案第69号 公の施設の指定管理者の指定について

全会一致で可決しましたが次のような意見がありました。

これまでの温泉経営の経緯からも厳しい経営となることが考えられるので、健全経営の実現

に行政は支援体制と危機管理体制づくりを徹底すべき。経営をできるだけ早く軌道に乗せるためにも水道料の減免措置は継続し、新旧指定管理者のスムーズな移行が図れるよう指導と周知を徹底すべき。新しい指定管理者は、利用客の立場に立った経営を心がけ、新しくなったこの里を積極的にPRするとともに、行政、議会、市民が一丸となって支援していくべきとの意見がありました。

## 常任委員会 行政視察報告

### 総務常任委員会

平成27年7月7日

東京都議員会館

#### 「県内選出国會議員に対する要望活動」

「東九州道 日南く串間く志布志間の早期事業化・早期整備について」の要望書を古川禎久衆議院議員、松下新平参議院議員、長峰誠参議院議員に提出しました。

7月8日

北海道夕張市

#### 「夕張市のまちづくりについて」

夕張市は各地方自治体が地方創生で現在取り組んでいる地方版総合戦略が既に出来上がり、地区ごとのコンパクトシティ化など協働の取り組みによるまちづくりを進めている他、CBM（炭層メタンガス）開発による地域エネルギーを活用した商

工業・農業の振興策等が進行中であることを考えると地方創生のトップランナーではないかとの感想も持つたところです。

ただ、一般会計（130億）から40億ほどの公債費の歳出があと14年間続くという厳しい状況ではありますが、「地域住民が丸丸となって地道ではあるが、持続可能な再生夕張を目指し、前を向いて進む」という意識改革が成った夕張市は串間市にとって見習うべきところ、参考にすべきところが多々あったように思います。

7月9日

北海道砂川地区広域消防組合

#### 「消防の広域化について」

消防広域化はメリット、デメリット双方がありますがその地域の地理的条件や背景、環境などが大きく左右するという問題があります。

串間市でも広域化についての協議が進んでいるようですが、広域化ありきではなく住民サービスの低下を招かないようにエリアの条

件を十分考慮したうえで広域化を検討する必要があるのではないかとこの感想を持ちました。



### 文教厚生常任委員会

7月13日から15日の日程で3カ所を訪問しました。

長野県上田市

#### （ひとまちげんき健康プラザ）

上田市の課題は糖尿病、血糖値の高い人が増加していること、その対策として①子供の健康づくり②若い世

代の健康づくり③楽しみながら続ける健康づくり④ウォーキングによる健康づくり⑤科学的根拠に基づいた健康づくり⑥健康クラウドシステムの導入の6本の柱で実施されていて、頑張った分二目で消費カロリーがわかる機器の導入の取り組みが素晴らしい。

#### 群馬県東吾妻町（5校を統合）

人口規模も串間市と同レベルの自治体で、この4月より中学校5校を統合されています。

自転車通学の生徒にはヘルメットの補助2分の1程度が支給されていて、生徒のケア対策は、6年生の交流学習、中学生の部活動の合同練習が実施されています。統合して友人が増え、学校に活気が出て毎日がとても楽しい」と生徒の声を聞くことができました。

高崎市

#### （高齢者安心見守りシステム）

65歳以上の独居高齢者、二人暮らしの世帯に対し緊急事態発生時の対応、見守りの事業緊急通報装

置、安否確認センサー設置など、高齢化社会へ向けての重要な取り組みが実施されていきました。

以上視察研修し導入可能な件については串間市にも提案していきたいと思えます。



### 産業建設常任委員会

平成27年7月7日～10日に産業建設常任委員会の行政視察を行いました。

7日は国会議員会館及び国土交

通省にて、東九州自動車道の事業化に向けた要望活動を実施、陳情書をお渡ししました。その後、古

川楨久事務所にて「道路行政をめぐる最近の話題」として国土交通省道路局ITS推進室長より約1時間半の講義を受け、意見交換を行いました。

8日は、群馬県利根郡川場村の道の駅の取り組みについて視察を行いました。世田谷区との都市交流事業や徹底した地域ブランド化、地域リーダー養成により全国



トップクラスの道の駅を形成。その経営方針やノウハウ等の説明を受けました。

9日は石川県加賀市にて、商店街活性化の取り組みについて行政視察を行いました。山中温泉南町ゆげ街道は、街なか目抜き通り整備事業を活用し、電線地中化、車道照明灯等を設置、商店街の活性化や交流人口の増加策がなされており、事業説明を受けながら現地を見学しました。

### 自治会連合会との意見交換会

広報広聴・議会改革調査特別委員会  
委員長 井手明人

平成27年7月24日に自治会連合会との意見交換会を行いました。

改選後の6月定例会において、新たに広報広聴・議会改革調査特別委員会を設置いたしました。これまでの議会改革に広



報広聴を加え6名の委員で活動しております。

意見交換会において、市民に身近な課題について活発な意見が交わされました。例年、自治会連合会との意見交換会を実施させていただいており、厳しいご意見や提案がなされました。それを受け今後の課題について、議会・委員会活動において解決を図ってまいります。

# Q&A 一般質問

市議会議員が市に対して皆さんの生活にかかわる内容を質問します。

市長や行政委員会に市政の状況や将来の方針、住民生活に密接にかかわる事項について質問をすることで、串間市では今どんなことが行われているか知ることができます。



## 待遇改善

### 臨時職員の待遇を改善せよ！

#### 臨時職員に通勤手当等の支給を

総務省は、臨時職員の「通勤手当等の支給を求める」通知をしている。串間市も実施すべきです。

「正職員は371名、嘱託職員54名、臨時職員136名。年休は与えている、通勤手当は検討したい」と答弁。

#### 市民・議会軽視は改めよ！

花火大会「雨の場合は延期」となっていたのに「中止」を決定。議会が開かれていたのに何の報告もなし。教育委員会は「小学校は生徒1名在籍でも存続させる」方針。地方創生に取り組んでいるなか、1カ月の短期間で「笠小・休校」を決定。議会には事後報告。「県の急傾斜危険区域の調査を待つて対応する」と答弁してきたのに、調査結果が出ていないのに新中学校工事契約を提案。どれも議会軽視です。「指摘に対しては真摯に受け止めている」と答弁。

#### 戦争法案は廃案に！

戦争法案の審議、政府の説明が度々変わり何度も審議中断、ボロボロになった法案は廃案しかありません。二元最高裁判所長官も違憲と指摘している法案は撤回すべきです。

「国会で十分な議論が尽くされるべき」と答弁。

#### 川内原発再稼働は中止せよ！

「安全対策がうまくいかなければ福島と同じ状況になる」「審査合格でもリスク」「規制委員会と政府認識に隙間」(8月12日・宮日)と川内原発再稼働を批判しています。国際原子力機関・IAEAも「根拠のない原発安全の思い込み」が福島原発事故の最大の原因と指摘している。再稼働は中止すべきです。

「国の責任のもと安全向上に取り組んでもらいたい」と答弁。

#### 介護保険改定の影響について

「4月・8月の改定から間もないため今後を注視していく」と答弁。



こだま まさたけ 議員  
児玉 征威

基盤整備

国道448号の整備について



かどた くにみつ 門田 国光 議員

今議会においても、国道448号、財政運営と地方創生、買い物弱者への対応等々、多くの質問をした中で特に

**Q** 国道448号市木岫地区において道路の陥没や崩壊が発生して、地域住民は大変不便となっているがその対応は。

**A** 地区内の陥没箇所は仮道が出来たが、もう箇所は仮橋を造り通行できるようにして、海岸から復旧工事を行う。

**Q** 岫地区住民の不便さをできるだけ少なくするよう、自治会長と連携を密にすべきであるがその対応は。

**A** 行政もできる限りの努力をする。

**Q** 海岸線は波の影響で崩壊する危険が多く見受けられる、一般県道439号南郷市木間の改良と国道448号石波大納間のバイパス建設に早急に取り組むよう努力すべきであるが行政対応は。

**A** 行政も県当局に対し、できる限りの要望活動を行う。国道448号バイパス建設については、事業評価委員会に近く諮問される予定である。

**Q** 限界集落への対応と買い物弱者への対応は。

**A** 集落点検を実施して、地域の現状、課題の把握に努め、対応策を行政や関係機関と連携して行っていく。

**Q** 消防団の存在はどの組織よりも頼りになります。現在では高齢化はもとより、団員の確保が厳しくなり、部の活動に支障が出ているのではないかと。消防団の充実を図るべきだと思いが。

**A** 消防団は、地域密着性、要員動員力、即時対応力に優れた地域防災の要となっている。機会あるごとに市民に加入促進の働きかけを行い、団幹部会においても協議していく。

基盤整備

ICT基盤整備促進が一步前進



いで あきと 井手 明人 議員

○地方創生の取り組み

**Q** 串間版総合戦略においてメインとなる事業については「構造改革特区」を申請し、セットで推進していく考えはないか。

**A** 内容によっては特区の活用も考えていく。

○道の駅

**Q** 道の駅の実施計画書は寿屋跡地が含まれるかどうかで大きな違いが出てくるので、土地問題が解決した後策定すべきではないか。

**A** 今年度中に中心市街地活性化実施計画書の策定を予定している。

○笠抵小学校休校とその他学校の跡地利用

**Q** 笠抵小学校の休校決定は将来ビジョンも無く安易な決定ではないか。また、これまでの小学校の休廃校、29年度以降の中学校廃校についても地元との協議を進め早急に取り組むべきではないか。

**A** 今後、地元住民と協議し利活用を計画していく。

○ICT基盤整備

**Q** ICT基盤整備について、総務省以外の省庁で活用できる事業はあったのか。

**A** 国土交通省の「社会資本整備総合交付金」を活用して取り組むように計画を策定する。

○ふるさと納税

**Q** 多額の増額補正となったが、条例においてその使用目的を具体的にすべきではないか。また、基金を都井岬の整備に活用考えはないか。

**A** 今議会で「都井岬の振興に関する事業」を加える条例改正を提案した。

○市民団体の活動と「まちづくり基本条例」

**Q** 先ごろ市民団体が行った「トップパス」をエゴリズムの二環として捉えサポートしていくべきではないか。また、市民団体の活動が活発になってきた現状では「まちづくり基本条例」の制定が必要ではないか。

**A** 積極的にサポートしていく。条例制定については検討する。



地方創生

バットを振らなきや  
当たらない！

地方創生の意味を考えると、新しいことに挑戦する勇氣、そしてそれを貫く覚悟が求められているように思います。今回の一般質問は、大切な「農業と観光」、「それを活かす」「道の駅とまちづくり」「教育と人材育成」を大きな柱として質問をさせていただきました。

**AQ** 国内外に新たな交流都市や姉妹都市を結ぶ考えは、可能性については検証し、市民間の機運を期待したい。

情報化について。

**AQ** 動画配信やスマートフォン等のモバイル端末の特性を利用した取り組みも検討している。

ゆうゆうの森にバス停を。

前向きに検討する。

**AQ** 総合戦略の「まち・ひと・しごと」の3つに重点を置くのが、一番に雇用。ターゲットは若年層。出生率の向上にもつながる。

外国クルーズ船については。

**AQ** 宮崎大学と連携し、外国人向けの情報発信や観光パンフレット等を作成していく。



ふくどめ しげと  
福留 成人 議員

**AQ** 三大イベントについて。市民や市民団体等のアイデアや意見を取り入れ反映させる工夫が必要。

農村地域の活性化策。

**AQ** 笠祇地区を中山間地域活性化のモデルにした。

新しい中学校づくりの状況を保護者に報告する機会は、9月末の本城地区を皮切りに報告会を開催していく。

**AQ** 福島高校と連携型中高一貫高校について。

事務局体制の充実を図ることが求められると認識している。

**AQ** 開設される宮崎大学の新学部との連携策は、推薦枠について研究し可能性を求めたい。

中心市街地まちづくり計画と「道の駅」について。

**AQ** 市外からの観光客の入り口（玄関口）であり、情報発信の場所。地元の人が集えるような拠点づくりを目指し施設の経営についても市民の意見を盛り込みたい。

**AQ** 三大イベントについて。市民や市民団体等のアイデアや意見を取り入れ反映させる工夫が必要。

**AQ** 農村地域の活性化策。

**AQ** 笠祇地区を中山間地域活性化のモデルにした。

**AQ** 新しい中学校づくりの状況を保護者に報告する機会は、9月末の本城地区を皮切りに報告会を開催していく。

基盤整備

国道448号バイパス  
計画について



やまぐち なおとく  
山口 直嗣 議員

**Q** 国道448号の現状と石波より名谷間のバイパスに向けた調査ルートの選定が進んでいると思いますが、現在までの状況は？ それから県の公共事業評価委員会が開催される、最終決定権をもっていると聞きましたが、情報と状況はどのようなになっているのか？

している。  
・家庭での学習方法について、具体例を挙げながら教えている。  
・家庭学習の与え方について、教職員で共通理解を図っている。  
・学力調査の結果を分析し、具体的な教育指導の改善等に反映させている。

**A** 国道448号の現状については1カ所の片側交通があり、路面沈下等も一部見受けられる現状にあると認識されております。石波・名谷間のバイパスについてはルートがほぼ固まっています。県公共事業評価委員会に諮問され、必要性和効果について評価が行われるようになっています。

・児童生徒の発言や活動の時間を確保し、授業を進めている。  
以上が本市を特に上回っている調査項目であり、学力の向上は本市の掲げる小中高一貫教育の重要な柱の一つであり、学力向上に向けた対策を充実させていきたい。

**Q** 全国学力学習状況調査において全国上位を維持している秋田県、福井県、石川県と何が違うのか？ その違いを示してほしい。

本市の諸問題について市長の政治姿勢を聞きました。  
・市木中学校の跡地利用について。  
・市木地区に対し福祉施設の設置について。  
・軸地区の災害について。  
・国道448号の現状とバイパスの進捗状況について。

**A** 秋田県との教育の違いは子どもたちが熱意を持って勉強

している。

市政

市長の政治姿勢について



さかなか よしひろ 議員  
坂中 喜博

○地方の財源確保について

**Q** 串間市は、地方交付税頼りの脆弱な自治体であり、地方財源確保に向けて市長はどのように取り組まれているのか。

**A** 全国市長会をはじめ、地方6団体による活動、全国過疎地域自立促進連盟の理事会・総会などに、ことあるごとに地方交付税の拡充や地域活性化に繋がる補助金等の財源確保に向け、国県への要望活動を行っている。

○都井岬の振興について

**Q** 米良電機産業が土産売場・喫茶店・コテージなど都井岬開発を前に検討するとの報道がされたが、企業との協議はどのようなことが、

**A** 課題の再整理、役割分担、開発における基本的な考え方について調整をしている。

○ケーブルテレビの設置について

**Q** ブロードバンドの整備によりCATVインターネットなどのテ

レビ放送の難視聴地域の解消をする計画はないか。

**A** 情報格差の解消は、安心・安全な街づくり、企業誘致や定住化などに寄与する為に、光通信整備網の基礎調査を行っており、今後調査結果を踏まえて前向きに取り組んでいく。

○介護予防・日常生活支援総合事業について

**Q** 福祉の相談は、高齢者や障害者・子育て中の親など窓口が一本化されていない状況の中で、厚生労働省が福祉相談ワンストップで一括して応じられる社会福祉士を配置する方針であるが、串間市の取り組みは。

**A** 概要要求の段階であるため、具体的な内容については、把握できていないところで、国の動向を十分注視しながら対応していく。

その他 認知症への取り組み・国保の減額調整措置の見直し・コミュニティバスについて等質問をしました。

串間創生

串間創生への鍵となるもの



きしろ せいいちろう 議員  
木代 誠一郎

**Q** 市長当選から1年以上が経過。市長公約の進捗状況の現状と、どのように自己分析しているのか。

**A** 公約の29項目中、未着手はなすが達成が6、途中段階が14、着手済みが9。今後も5つの柱を中心に取り組んでいく。

**Q** ふるさと納税は寄附者のニーズについてリサーチし、より良いものをより多くというスタンスを確立すべき。寄付者のニーズを把握し、分析が必要ではないか。

**A** 今後マーケティングを行い、商品力のある串間オンリー商品の発掘・開発を促していく。

**Q** 笠紙小休校に伴い、児童たちは他校へ転学することになるが、転学後の笠っ子たちに不安のないよう最大限フォローしてほしい。

**A** 教育委員会としても転学後の小学校と連携し、子供たちのフォローに最大限取り組んでいく。

**Q** 串間市人口ビジョンが出されたが、減少する人口と縮小する財政、右肩下がりの中で推移していく社会の中で、まちの機能を再配置し適正化していく見通しは現在練られているのか。

**A** 農林水産業・観光を核とし、道の駅を含む中心市街地の施策もソフト事業を勘案し総合戦略に盛り込むまちづくりを目指す。基幹・観光産業にどれだけの付加価値をつけ若年層が働ける環境を作っていくかが鍵となる。

**Q** 8月に中心市街地活性化策を調査している福島高校生が研究成果を発表するプレゼンを行った。「串間産の野菜、果物でスイーツを作るカフェを出店しては」と提案されたが、今後の市の対応は。

**A** 大変完成度が高く素晴らしいプレゼンであり、イベント的に実施する方向。今後高校生をはじめとする協働により、早期実現を目指す。

教育

教育行政について



かわさき ちほ 川崎 千穂 議員

**Q** 防災教育、図上訓練、避難所運営ゲームや、地域との総合訓練の実施状況。

**A** 大平小学校において、県の「昼間の防災力強化支援事業」のモデル校として取り組んでいる。図上訓練の実施に向け、専門家による職員研修も行った。12月には、児童保護者、地域の方々と災害図上訓練を実施する。

**Q** 土曜授業に対する本市の方向性は。

**A** 平成14年から週5日制が始まり、定着している。他の自治体の対応を注視していく。

**Q** 笠祇小休校、中学校統合について子供たちの意見を聞く場を設けたのか。

**A** 保護者は子供と向き合い話し合いをして決められたと伺っている。

**Q** 笠祇小の休校により、小規模校の休校を心配する声があるが、教育委員会の方針をしっかりと打ち出すべきではないか。

**A** 小学校は地域の交流の場であり、歴史も長いことから学校再編の対象としないことを決定し、中学校再編計画にも明確に記載をした。

**Q** 福島中学校の通学路の防犯灯の設置。

**A** 市道上町鍛冶屋線福島中学校付近について、今議会に補正予算をお願いしている。

**Q** 福島高校の入学者確保の取り組み。

**A** 市内の中学3年生を対象にサマースクールや、オープンスクールを実施した。

**A** 進学を視野に入れた生徒や保護者のニーズに応える取り組みが必要と考える。

**Q** 女性活躍推進法が成立したが、取り組みは。

**A** 庁内における女性の活躍に関する状況の把握、改善すべき事情についての分析を行い、市内の事業所に対しても、積極的な情報提供に努め、職場環境の整備に向けた啓発を行う。

串間創生

串間創生と串間市人口ビジョン



たけだ こういち 武田 浩一 議員

**Q** 串間創生について、どんな串間にしたいのか、また、総合戦略の施策は、何を焦点にするのか。私は、基幹産業である農林水産業と観光産業で雇用を創出し、若者が喜んで住める、子育てできる串間にすべく、予算を集中するべきだと考えるが、所見を伺いたい。

**A** 急速な人口減少に歯止めをかけ、住み良い環境を確保し、農林水産業と都井岬を中心とした観光産業の振興策を総合戦略に盛り込み、雇用の創出と市民所得の向上に結び付けたいと考えております。

**Q** 今回、串間市人口ビジョン案で非常に厳しい推計が示された、市長の見解を伺いたい。また、人口減少対策には、明確な数値目標（毎年5名の地元高卒者を市役所に採用、毎年30名を補助金を出して地元企業に採用していただく等）を入れた形での若者定住促進の総合戦略をつくるべきだと考えるが。

**A** 人口減少問題は、厳しい推計を示しております。市民一丸となつて立ち向かっていかなければと決意を新たにしたいところであり、総合戦略の作成には数値目標も入れながら、しっかりと作業を進めます。

**Q** 若者が希望をもって住みたい串間にする為に、高校生へのリサーチや、高校生と若手職員の協議の場を作り、現状や課題を明確にし対策をすべきであるが。

**A** 特命部長着任後、福高での講演や福高生による中心市街地活性化策についてのプレゼンも拝聴し、意見交換もさせていただきました。議員の提案も貴重なご意見として承りたいと考えております。

**Q** よかバスのバス停には屋根もベンチもなく、利用者の方々が、雨の中、暑い日差しの中、長時間バス停で待つていらっしやいます。屋根、ベンチ等の設置をお願いしたい。

**A** 指定管理者との会議や、利用者アンケートの中でも、そういうご意見がありました。議員ご提案の通り、しっかりと対応してまいります。

雇用対策

若者の働く場を  
作らないと消滅する



ふくぞえ ただよし  
福添 忠義 議員

**Q** このまま人口減少が続くと串間市の将来は無い。具体的な経済振興策による雇用を確保して、若年層の流出防止を図れ。□先だけでは駄目だ。

**A** 第一次産業と観光振興策を進め、45年後の人口ビジョン1万人を設定した。

**Q** 東九州自動車道の早期着工・早期完成への市民の期待は大きい。具体的な見通しはどうか。

**A** 現在、整備路線にもなっていないので、いつから着工するか等の具体的な見通しはたっていない。

**Q** 道の駅建設構想の場所・面積・買収戸数・総事業費・財源計画はどうなっているか。

**A** 泉町市民駐車場北東約2ヘクタール、対象戸数は50戸、20億円を見込んでいるが、国側と協議が整っていないので財源計画はたっていない。

**Q** 市内の建設業の廃業が多い。市内の公共事業等は市外業者が

**A** 目立つ。地元業者の受注を増やす等、地場産業の育成を図るべきだ。その観点がないが。競争原理を働かせて、財源を浮かせられる。

**Q** 固定資産税は標準税率に戻すべき。志布志等と比べ1割高い。財源確保に他市のように「ふるさと納税」に力を入れて市民負担を軽減すべき。

**A** 固定資産税は市の大きな財源で、税率を改正するのは厳しい。検討していきたい。

**Q** 廃校・休校後の利活用計画が全くない。地域活性化に真剣に取り組むべき。

**A** 今後具体的に取り組むため、協議の場をつくる。

**Q** 高レベル核廃棄物処分場説明会に参加しているが。

**A** 建設受け入れは考えていない。

農業

27年度産お茶・  
早期水稲について



いまえ たけし  
今江 猛 議員

**Q** 本年のお茶・早期水稲の作況、販売状況について。

**A** 茶につきましては、生育期である3月から4月にかけての日照不足により、生葉の「色のり」や荒茶の水色など、品質面で影響を受けたところであります。収量については概ね平年並みであったものの、価格は一番茶でキロ当たり1100円程度で、出荷時期にもありますが価格差の顕著な取り引きであり、燃油価格の高騰など課題もある中、厳しい状況でありました。

25%程度の減収を見込んでいます。ところであります。

販売状況でございますが、茶につきましては一番茶の実績で申し上げますと、荒茶の出荷量で11万2626kg（前年比104.5%）、金額にして1億2500万円（前年比80.9%）となっております。次に早期水稲であります。JAはまゆうの早期水稲出荷実績によりますと、予約数量6万7428袋に対し5万2735袋（78.2%）の出荷実績となっております。出荷量ベースでの前年比は71.3%（5万2735袋／7万3911袋）となっております。また、金額につきましては概算金ベースであります。コシヒカリで2億8900万円（前年比96.6%）となっております。

次に早期水稲につきましては、宮崎県においては作況指数「85」、作柄「不良」となっております。

本市においても4月から5月にかけての日照不足や6月以降の長雨の影響により、穂数やもみ数が減少し、南那珂地域全体では



請願＝市議会議員の紹介が必要です。議長が受理し、各常任委員会に付託され審査されます。  
 議会最終日に各常任委員長が審査結果を報告し、採択・不採択を決定します。  
 陳情＝市議会議員の紹介は不要です。取り扱いについては、請願と同じです。

## 請願陳情審査報告書

平成27年第5回串間市議会（9月定例会）

種別番号	受理年月日	件名	付託委員会	審査結果
陳情第1号	平成27年7月24日	串間・市木国道448号通行止めに伴う迂回路の整備についての陳情書	産業建設	採択
陳情第2号	平成27年8月17日	くしま朝市「よかむん市」の円滑開催に向けた会場環境整備について	産業建設	採択
陳情第3号	平成27年8月31日	川内原発再稼働について公開住民説明会を求める陳情	総務	継続審査

### 討 論

**議案70号、議案77号**は、来年1月からマイナンバーを利用開始する予算約1400万円とその条例です。

しかし、マイナンバー制度は、個人情報への漏洩対策が不十分、制度を知らない国民が約4割、企業のシステム改修工事は28%で実施が危ぶまれています。マイナンバーを紛失した場合の責任も本人で管理に不安が広がっています。苦情等の問い合わせの対応は自治体任せで、日常業務と重なり大混雑が心配されています。「百害あって一利なし」のマイナンバー制度は中止すべきです。

今回の補正予算、「道の駅」用地買収調査費680万円、複合施設建設のための解体工事費360万円、路面電車に観光案内所等を設置する214万円が提案されています。「道の駅」の事業費20億円、旧吉松家周辺整備3.4億円の大事業なのに、利用見込みも財源計画も示されていません。旧寿屋跡地の問題、松清ガード

下までの歩道整備や天神川の改修も解決されていません。採算見通しもない開発優先の事業は見直すべきです。

恋ヶ浦トイレは1年半で使えなくなり86万円の改修費が提案されています。責任があいまいの工事費は許されません。

**議案78号**は、4月から日南市の焼却場を利用、分別収集を実施することに伴いゴミ袋代等の条例改正です。分別収集でゴミの減量化が図られますが、市民が超過負担している約1400万円のゴミ袋代は従来のままです。ゴミ袋代は引き下げるべきです。

**陳情第3号「川内原発再稼働について公開住民説明会を求める陳情書」**は、串間市が地域防災計画に原子力災害対策編を新しく設けたことから「継続審査」ではなく採択すべきです。

議員提出議案第1号

森林整備事業予算の拡充についての意見書

右記の議案を別紙のとおり、会議規則第14条の規定により提出いたします。

平成27年9月18日

串間市議会議長 岩下 幸良 様

提出者

串間市議会議員

賛成者

串間市議会議員

坂中 喜博  
木代誠一郎  
福留 成人  
川崎 千穂  
今江 猛  
武田 浩一  
瀬尾 俊郎  
井手 明人  
山口 直嗣  
門田 国光  
福添 忠義  
武田 政英  
児玉 征威

〔提出先〕

衆議院議長、参議院議長、  
内閣総理大臣、農林水産大臣

森林整備事業予算の拡充についての意見書

森林、林業の振興につきましては、日頃より格別なご高配を賜り厚くお礼を申し上げます。

現在、本市においては戦後の拡大造林により7割以上のスギを中心とする人工林が伐期を迎えており、県内では木質バイオマス発電施設も多く建設され、また森林組合を中心としてスギ・ヒノキ材の海外輸出にも取り組んでいることから、今後も木材需要は高まり、さらに伐採が進むことは確実であります。

本市といたしましても伐採後の再造林を推進しているところではあります。が、下刈り、徐間伐といった森林整備に係る経費や苗木不足により、造林が行われない森林が増えることが懸念されます。つきましては、森林の適正な管理を行うため、また森林の持つ多面的な公益的機能を維持するため、下記の措置を講じていただきますよう特段のご配慮をお願いいたします。

記

1. 資源循環型林業の実現のため、森林整備（造林、下刈り、徐間伐）の予算拡充
2. その地方、地域にあつた林業予算の配分

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

平成27年9月18日

宮崎県串間市議会

平成27年8月 第4回串間市議会臨時会 議案等の審議結果及び各議員表決

		議決結果	坂中 喜博	木代誠一郎	福留 成人	川崎 千穂	今江 猛	武田 浩一	瀬尾 俊郎	井手 明人	山口 直嗣	門田 国光	福添 忠義	武田 政英	児玉 征威	中村 利春	岩下 幸良
市長提案	第69号公の施設の指定管理者の指定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-

○賛成 ×反対 -欠席等 -採決なし ※議長（岩下幸良）は採決に加わらないので「-」で表示

平成27年9月 第5回串間市議会定例会 議案等の審議結果及び各議員表決

		議決結果	坂中 喜博	木代誠一郎	福留 成人	川崎 千穂	今江 猛	武田 浩一	瀬尾 俊郎	井手 明人	山口 直嗣	門田 国光	福添 忠義	武田 政英	児玉 征威	中村 利春	岩下 幸良
市長提出議案	報告第7号平成26年度串間市健全化判断比率の報告について	終了	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	報告第8号平成26年度串間市資金不足比率の報告について	終了	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	認定第1号平成26年度串間市一般会計歳入歳出決算の認定について	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	認定第2号平成26年度串間市国民健康保険特別会計（事業勘定）歳入歳出決算の認定について	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

		議決結果	坂中 喜博	木代誠 一郎	福留 成人	川崎 千穂	今江 猛	武田 浩一	瀬尾 俊郎	井手 明人	山口 直嗣	門田 国光	福添 忠義	武田 政英	児玉 征威	中村 利春	岩下 幸良	
市長提出議案	認定第3号平成26年度串間市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	認定第4号平成26年度串間市民病院事業会計決算の認定について	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	認定第5号平成26年度串間市簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	認定第6号平成26年度串間市水道事業会計決算の認定について	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	認定第7号平成26年度串間市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	認定第8号平成26年度串間市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	認定第9号平成26年度串間市漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	認定第10号平成26年度串間市物品特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	認定第11号平成26年度串間市介護保険特別会計（事業勘定）歳入歳出決算の認定について	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	認定第12号平成26年度串間市介護保険特別会計（サービス事業勘定）歳入歳出決算の認定について	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	認定第13号平成26年度串間市市木診療所特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第70号平成27年度串間市一般会計補正予算（第3号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
	議案第71号平成27年度串間市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第72号平成27年度串間市民病院事業会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第73号平成27年度串間市簡易水道特別会計補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第74号平成27年度串間市水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第75号平成27年度串間市介護保険特別会計（事業勘定）補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第76号串間市がんばつどふるさと応援基金条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第77号行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
	議案第78号串間市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
議案第79号工事請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
議案第80号平成26年度串間市民病院事業会計積立金の処分について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
議案第81号平成26年度串間市水道事業の剰余金の処分について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
議案第82号固定資産評価審査委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
議案第83号教育委員会委員の任命につき議会の同意を求めることについて	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
請願・陳情	陳情第1号串間・市木国道448号通行止めに伴う迂回路の整備についての陳情書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	陳情第2号くしま朝市「よかむん市」の円滑開催に向けた会場環境整備について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	陳情第3号川内原発再稼働について公開住民説明会を求める陳情	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-
議員提出議案	議案第1号森林整備事業予算の拡充についての意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	

○賛成    ×反対    -欠席等    -採決なし    ※議長（岩下幸良）は採決に加わらないので「-」で表示

**都井岬「ハラジロ瀬」照射灯 『南灯台』**

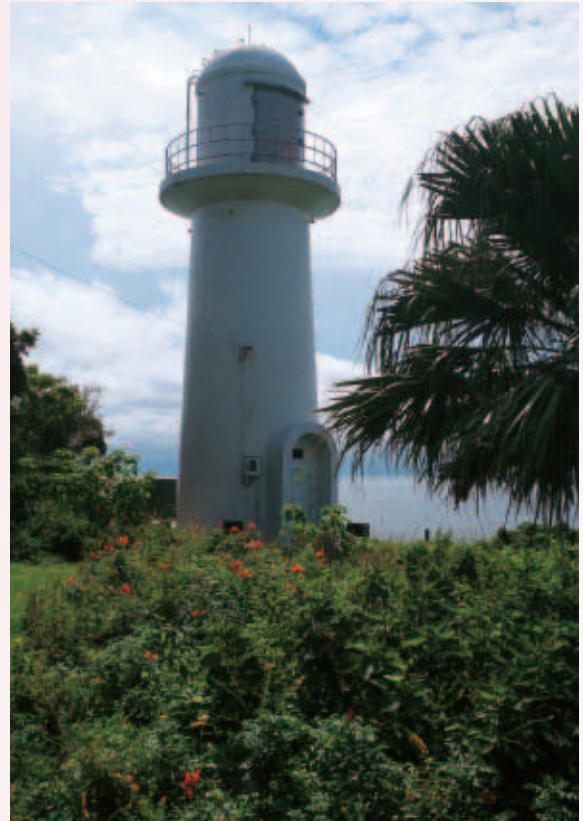
この施設は、ここから南南西方へ約1,400メートル離れた海の中にある「ハラジロ瀬」を照らし、その付近を通航する船に危険な浅瀬を知らせるために昭和41年3月25日に建てられ、地元の人からは、都井岬灯台の南西方にあることから『南灯台』と呼ばれ親しまれています。

光源には、特殊な電球「キセノン入りランプ」を使用。照らされている「ハラジロ瀬」では新聞の文字も読める明るさとなっています。

白亜の都井岬灯台では、年間を通じ施設の中を一般に公開しています。施設の状態や灯火の把握は、近隣住民に依頼してあります。

## ●施設の概要●

位置 北緯31度21分43秒、東経131度20分09秒  
 光度 9800万カンデラ  
 高さ 地上から頂部まで 11.3メートル  
       水面から灯火まで 94.6メートル  
 灯質 不動白光

**申間市議会を見学してみませんか!**

申間市議会では、皆さんの傍聴をお待ちしております。定例議会は、『3月・6月・9月・12月』に開会しております。

「市民に信頼され、役立つ議会づくり」を基本理念に「申間市議会基本条例」を制定し、2年が経過いたしました。市民の声を市政に反映すべく議会運営に行政と一体となって取り組んでおります。

一人でも多くの市民の皆様へ、開かれた議会を理解していただく上でも、是非、議会へ足を運んでみてください。お待ちしております。

★インターネット中継を実施しております。  
 議会がリアルタイムでご覧になれます。申間市のホームページ「市議会・インターネット中継」からどうぞ。

**議会を読もう!**

「申間市議会だより」は3月、6月、9月、12月の定例会（内容）を発行します。  
 ぜひ、皆さんの生活に密接に関わる議会の活動を知る機会にしてください。

編	集
後	記

編集委員  
 武田 浩一

今回、多くの議員から「人口ビジョン」「総合戦略」関連の質問が集中しました。

申間市人口ビジョン（案）では、2060年日本創成会議で7,278人、社人研で8,185人という推計が出ています。市は人口1万人を維持する施策を「総合戦略」に盛り込む予定です。しかし、現実に数字で見ますと驚きを禁じ得ません。

明るい話題を1つ、東洋経済の「住みよさランキング2015」安心度部門で申間市が全国4位に選ばれました。県内では申間だけです。

最後に、申間市民には力があると信じます。市民一丸となり申間創生を成功させ、子孫に希望の光を繋いでまいりましょう。